

---

目次

.....

【1】 --- EBSCO 電子ブックコレクション 6300 冊を Open Access で提供

.....

【2】 --- KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金へのご協力御礼

.....

【3】 --- 国会図書館 個人向けデジタル化資料送信サービス開始

.....

【4】 --- 投稿した論文への修正対応時における留意点

.....

[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- EBSCO 電子ブックコレクション 6350 冊を Open Access で提供

.....

「[Fast Facts](#)」 シリーズ

「[The Orexin System. Basic Science and Role in Sleep Pathology](#)」 (2021 発行)

「[Becoming Donor-Conceived : The Transformation of Anonymity in Gamete Donation](#)」 (2022 発行)

など、無料の電子ブック約 6300 タイトルが、*eBook Open Access (OA) Collection* から利用できます。

同じく公開の *EBSCO eClassics Collection* には

「[Wuthering Heights](#)」 (嵐が丘)、「[Great expectations](#)」 (大いなる遺産)、「[The last of the Mohicans](#)」 など、古典小説が収録されています。

◆タイトル一覧は[こちら](#)から、*eBook Open Access (OA) Collection*、*EBSCO eClassics Collection* を選択してください。

◆[Mecke](#)、[SFX 電子ブック AZ リスト](#)からも検索できます。

---

【2】 --- KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金へのご協力御礼

.....

おかげ様で、令和3年度の寄付金額が平成27年度に開設して以来最高となりました。これもひとえ患者様をはじめ、医大教職員や卒業生の方々の温かいご支援のおかげです。

買取金額は社会の状況（円高や自然災害被害等々）に影響を受けますが、本学ならでの専門書等、良質で豊富な量をお寄せいただいております。幸いなことに、高額な寄付につながっています。皆様からのご厚意は、学生の希望図書や、非接触体温計等備品の購入費用に活用しています。今後とも、古本募金へますますのご支援をお願い致します。

また、図書館入り口前に、募金の対象から外れた本を並べております。懐かしい本や楽しい本もございます。どうぞご自由にお持ち帰りください。

#### ◆[KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金](#)◆

皆様からいただく私物の書籍や DVDなどを所定の方法で売却し、その査定額を大学にご寄付いただく、本を使った募金活動です。

---

### 【3】 --- 国会図書館 個人向けデジタル化資料送信サービス開始

.....

2022/5/19(木)から、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち[絶版等の理由により入手困難なものをインターネット経由で個人に送信するサービス](#)を開始しました。

◆利用には、[登録](#)が必要です。(オンライン可)

◆利用できる資料

- ・昭和43年までに受け入れた図書等 約55万点
- ・明治期以降に発行された雑誌のうち、刊行後5年以上経過したもの 約82万点
- ・(以前から可)著作権保護期間満了・許諾等によりインターネット公開 約57万点

◆現在は閲覧のみ。2023/1を目途に印刷機能を提供する予定です。

---

### 【4】 --- 投稿した論文への修正対応時における留意点

.....

ジャーナルに論文を投稿して、「修正・再提出」と判定されるのはよくあること。そこで「次はどうすればよいのか?」という疑問が浮かんできます。修正を求められたときに留意すべき6つの注意事項を[ウォルターズクルワー社が紹介](#)しています。

---

## [Book Review]

.....

杉浦日向子著『うつくしく、やさしく、おろかなりー私の惚れた「江戸」』(筑摩書房 2006)

この春、手術のため、府立医大病院に入院した。医師や看護師、スタッフの皆さんに大変お世話になった。激務の中、丁寧に説明、施術、看護いただき心より感謝申し上げる。

消化器系なので、「お通じはありましたか?」「ガスは出ましたか?」が挨拶のように交わされる。一日中ベッドにいと、自分が“糞袋”であることを自覚する。術後「院内であれば歩行してよい」と許可を得て、エレベーターホールの院内図に『患者図書室ほほえみ』の存在を見つけた。(すっかり忘れていた)

点滴を転がしながら足を踏み入れた途端、みるみる自分が潤うのを感じる。世界の歴史、珍しい虫の図鑑、美しい風景、生命科学の謎、作詞家の伝記…次々と知りたいこと、読みたいものが現れる。新しい本の香り立ち込める図書室で読書し、数冊を借りて病室へ持ち帰った。ほほえみの存在がオアシスのように、私の知識欲や感性がよみがえり、糞袋に背骨が生えて、シャンとした。

ちなみに“糞袋”とは、上記本から学んだ言葉である。江戸人が好んで口にする自嘲は「人間一生糞袋」というタンカらしい。

結局のところ生物は「食べて糞して寝て起きて、死ぬまで生きる」ものであるが、生きている間は背骨も使いたい。人間だもの。(C.H)

(患者図書室ほほえみ、京都府立図書館所蔵 [K-Libnet](#) でも貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4480426604>

.....

図書館メール News 第 466 号 2022.5.27.発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>